長久手市景観計画（案）についてのパブリックコメント実施結果

令和2年3月

長久手市

1 実施状況

- (1) 募集期間：令和2年1月30日（木曜）から令和2年2月28日（金曜）まで
- (2) 計画案の閲覧場所：市役所本庁舎3階都市計画課窓口、市役所西庁舎1階情報コーナー、西小校区共生ステーション、市が洞小校区共生ステーション、まちづくりセンター、市ホームページ

2 意見の提出人数、件数

1人、2件

3 意見の内容及び市の考え方

以下の表のとおり。

意見番号	該当ページ	意見内容	市の考え方
1	P. 40～ P. 47	<p>第3章 景観法を活用した規制誘導について 景観形成基準マンセル表色系による基準が厳しいと思う。</p> <p>主要道路の沿道にあたる建物や、景観重要建造物として神社仏閣などを含む歴史的建造物などの見え方が調和を壊す可能性のある場所についてはある程度の基準が必要だと考える。そのような場所については丁寧に場所と基準を規定したらどうかと思う。例えば、せせらぎの径の沿道区域など。</p>	<p>色彩のマンセル表色系による基準は、景観計画を策定している県内の他市町と比べても同等の基準となっており、特段厳しい基準ではありません。</p> <p>色彩の景観形成基準については、制限に適合しないものに対して、変更を命ずることができます。定性的な基準とした場合、変更命令の可否の判断が個人によって偏りが生じる可能性があるため、マンセル表色系による定量的な規定（数値による規定）を設けました。</p> <p>今回の景観計画策定の目的は、まずは、長久手らしい景観を守り・育み・創造するためであり、特に厳しい基準や、重点地区は設けておりません。今後、地域の主体的な取組や協働を促進し、自分たちで景観まちづくりのルールを考え、地域の思いが引き継がれるように景観協定等を活用するなどして、景観の向上を目指したいと考えています。</p>
2	P. 65～ P. 68	<p>第6章 景観まちづくりの推進について</p> <p>・市民・事業者・行政それぞれの景観まちづくりを推進すると、市民が1番にくることについては、各主体が連携・共働しながら取り組む上で市民が協力することを計画に明記することで我がまち長久手に愛着を育むこと環境を整え、行政が市民・事業者の意見、要望等を十分に反映し総合的な施策に責任を持って実施していくことを伝えられていると思う。</p>	<p>ご意見いただいたとおり、景観まちづくりの推進にあたっては、市民が景観まちづくりに参加・協力し合いながら、我がまち長久手の愛着を育む環境を、少しずつかたちづくられていくことが重要です。</p> <p>第6章では、各種制度や付属機関等の設置や、推進体制、骨格となる仕組みづくりなど、今後の展望を含めた整理をしていますが、それぞれの役割を互いに認識し、市民や事業者による景観まちづくり活動が活発になっていくさまを伝えたいため、推進体制づくりにおいて、その意図も伝わるような表現に一部改めさせていただきました。</p>